

Case 1

case1

大きな根尖病変

病変の消失が認められる



大きな根尖病変が認められる。通常の根管治療を行ったが病変が消失しないため
歯根端切除手術を顕微鏡を用いて行い、1年後には病変の消失が認められた。

治療内容

他院で根管治療を行ったが歯の根元が腫れたとの主訴で来院。診査の結果、不十分な根管治療による感染の拡大から慢性根尖性歯周炎、歯根嚢胞（肉芽腫）と診断し、通常根管治療と外科的歯根端切除術の併用で対応した。

治療期間

一回の治療（1～2時間） 2か月半

費用の概算

マイクロエンド 13万2000円 / 歯根端切除手術 11万円 / ファイバーコア
2万2000円
仮歯 6千600円 / セラミック冠 16万5000円 （全て税込み）

治療後の経過

通常根管治療で症状は改善したが病変の縮小化は見られなかったため外科に移行、その後は根尖部に歯周組織の再生所見が認められた

主な副作用

慢性根尖歯周炎の再発と歯根を切除しているため、支持骨内の歯根体積の減少による歯牙動揺の危険性がある